

前回報告書と今回報告書（項目案）との比較

前回（H21.6）報告書	今回（H23.6）報告書（項目案）
I はじめに	I はじめに
II 第三者委員会の活動の概要 1 経過 (1) 設置経過等 (2) 基本方針の作成及び先例の調査審議等 (3) 全国委員長会議等の開催	II 第三者委員会の活動状況の概要 1 活動の概況 (経過) <ul style="list-style-type: none">・設置経過等・基本方針案の策定と改正・中央委における先例の調査審議 <div style="border: 1px solid blue; padding: 2px; display: inline-block;">→ (3) : 記載せず</div> 2 開催回数 3 体制整備
4 事案処理 (1) 受付件数及び処理件数の実績 (2) 平成19年度申立事案の処理の目標の達成 (3) 平成20年度申立事案の処理状況	2 事案処理 (1) 受付の状況 <ul style="list-style-type: none">(受付件数)(受付事案の傾向)(受付件数の推移)(再申立件数の増加) (2) 処理の状況 <ul style="list-style-type: none">(処理件数及びその推移等)(処理の促進) <div style="border: 1px solid blue; padding: 2px; display: inline-block;">→(2)(3) : (処理の促進) の中で記載</div> (申立人の立場に立った処理) (あっせん率)

前回（H21.6）報告書	今回（H23.6）報告書（項目案）
<p>III 基本方針に基づく公正・迅速な事案 処理</p> <p>1 基本方針に沿った運営及び手続の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 処理手続の概要 (2) 関連資料及び周辺事情の収集 (3) 申立てからの意見聴取 (4) 統一的な運用 (5) 申立てから処理が終わるまでの処理期間 (6) 再申立て (7) 提出資料に虚偽の疑いがある申立て等への対応 <p>2 処理事案の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 全国の事案におけるあっせん・訂正不要の判断事由の分析 (2) 中央委員会の事案の制度別・類型別分析 (3) 地方委員会のあっせん率の差異の分析 	<p>→(1) : 記載せず</p> <p>→(2)～(4) : II 2 (2)に記載 (公正かつ丁寧な事案処理)</p> <p>→(5) : II 2 (2)に記載 (処理の促進)</p> <p>→(6) : II 2 (1)に記載 (再申立て)</p> <p>→(7) : 記載せず</p> <p>→2 (1)～(3) : 記載せず</p>
<p>IV 年金記録問題において第三者委員会の活動が果たした役割</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 事案処理を通じた年金記録の回復等 (2) 従来の記録確認作業との比較 (3) 厚生年金特例法の制定・施行 (4) 第三者委員会による基礎年金番号に未統合の記録の発見・認定 (5) 厚生年金における不適正な遡及訂正事案のあっせん (6) 社会保険事務所段階における職権訂正 	<p>→(1)(2)(4)(5) : 独立した項目として個別具体には記載せず</p> <p>→(3) : III 1 の中で記載 (調査審議からみた年金記録確認に係る課題)</p> <p>→(6) : II 2 (2)に記載 (処理の促進)</p>

前回（H21. 6）報告書	今回（H23. 6）報告書（項目案）
<p>V 今後の課題と取組</p> <p>(1) 平成 20 年度申立事案に係る処理目標の達成 (2) ねんきん定期便等への対応 (3) 今後の新たな申立てへの対応体制</p>	<p>III これまでの調査審議の実績を踏まえた今後の課題等</p> <p>→(1) : 結果について II 2 (2) に記載（処理の促進） →(2) : 結果について II 2 (2) に記載 (処理件数等及びその推移)</p> <p>1 調査審議からみた年金記録確認に係る課題 2 新たな年金記録確認体制</p>
資料	資料
※ 本編：59 ページ 資料：42 ページ	※ 本編：10 数ページ程度 資料：未定